

平成 19 年度

# 事業報告書

自 平成 19 年 4 月 1 日  
至 平成 20 年 3 月 31 日

社団法人 日本オーディオ協会

# 平成 19 年度事業報告書

(平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

本協会は定款の目的に従い、人々が良い音に接して人間性を豊かにし、オーディオ技術・文化・産業の発展に貢献するために、オーディオおよびオーディオ・ビジュアル(以下オーディオ等)に関する調査及び研究、普及および啓発、基準の作成、情報の収集および提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関等との交流および協力等、本協会の目的を達成するために必要な事業を実施しました。

平成 19 年度事業では、「オーディオ等の最新動向の啓蒙」「メモリーオーディオのグレードアップ啓蒙」「ビデオ・放送等のサラウンド・サウンド啓蒙」等を主要テーマに据えて、ネットによる積極的な広報活動と展示会等の各種イベント開催を通して、広く一般の人達を対象とした基本知識の向上と上手な利用法の伝達に努めると共に、次代を担う青少年の関心をたかめるための普及・啓発活動を行いました。

また、平成 20 年度以降の法人制度改革への対処を進めるために、特設委員会において時代に即した本協会のミッションと事業の方向性についての検討を開始しました。

平成 19 年度に実施した主たる事業は、定款第 4 条各号に沿った通りであります。

## (第 1 号)オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

普及推進部にサラウンド・サウンドワーキンググループ及び視聴イベントワーキンググループを設け普及活動に必要な事項の調査を行いました。サラウンドについては一般者の認知度と嗜好の調査を行い、普及活動の方向を定めました。

## (第 2 号)オーディオ等に関する普及及び啓発

「音の日視聴体験キャンペーン」A&V フェスタ 2008 におけるサラウンド・サウンドおよびメモリーオーディオの聴取に関する啓発活動、「サラウンドの日」の制定準備等を行いました。また、「音とスピーカーの実験教室」を 2 回開催し多くの子供たちへの啓発活動を行いました。

「音の日」には、音聴技術を用いて漏水の発見に努め水資源の有効活用にご貢献した東京都水道局の方々を「音の匠」として顕彰し、協会創立 55 周年の記念行事としてオーディオ・ビジュアル分野での功績を称える日本オーディオ協会賞を 4 名・1 社の方々に贈呈して音への関心を高める活動を行いました。

## (第 3 号)オーディオ等に関する基準の作成

オーディオエンジニア及び一般カスタマーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD 等の頒布を行いました。本年度には新たに 3 タイトルの新作品が加わりました。

## (第 4 号)オーディオ等に関する情報の収集及び提供

メール配信の会報『JAS ジャーナル』特集号 4 冊、通常号 4 冊を発行しました。JAS ホームページは年間 25 万ページビューでほぼ前年並み、「サラウンド Web」は年間 90 万ページビューで前年比 35%増の利用をいただきました。

## (第 5 号)オーディオ等に関する展示会開催

会期・会場・会場構成等を一新した「A&V フェスタ 2008」を平成 20 年 2 月 23 日～25 日にパシフィコ横浜カンファレンスセンターにて開催し、多くのユーザーにオーディオ等の最新情報と視聴体感機会を提供しました。

また、音楽を愛する方々により音を聴いていただく地域展開の新しいイベントとして軽井沢八月祭に協賛し、平成 19 年 8 月 21～24 日に軽井沢オーディオサロンを開催しました。

## (第 6 号)オーディオ等に関する人材の育成

(社)日本レコード協会・CDs21 ソリューションズとの共催で「CD25 周年記念シンポジウム」を「音の日」に開催し、CD の開発・事業展開やデジタルマスタリング進化の歩み等、当事者の貴重な体験を記録に残し後進に伝える事業を行いました。

## (第 7 号)オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力

第 14 回日本プロ音楽録音賞を関連団体と共催して実施し、「音の日」に 5 部門 10 作品の制作技術者を表彰しました。また、オーディオソフトの制作技術向上を目的とするプロフェッショナルオーディオ協議会に参画して 6 月に開催された「映画テレビ技術 2007」に協力しました。

## 平成 19 年度事業概要

### 1. オーディオ等に関する、ソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究（定款第 4 条第 1 号）

普及推進部会傘下にサラウンド・サウンドワーキンググループ及び視聴イベントワーキンググループを設け、普及活動に必要な事項の調査および活動内容の策定を行った。

#### (1) サラウンド・サウンドワーキンググループ（渡邊 哲純 主査 ほか 15 名）

ワーキンググループ開催経緯（17 回開催）

4 月 26 日、5 月 17 日、5 月 30 日、6 月 12 日、6 月 27 日、7 月 10 日、8 月 1 日、8 月 24 日  
9 月 26 日、10 月 23 日、11 月 16 日、12 月 17 日、1 月 9 日、2 月 5 日、2 月 20 日、3 月 7 日  
3 月 18 日（2～3 月は記念イベント、シンボルマーク、視聴体験キャンペーンの 3 分科会を設置）

主要活動内容

4～9 月：サラウンドについての一般者の認知度と嗜好のアンケート調査および結果のまとめ。

10～3 月：「サラウンドの日」の制定とイベント開催およびシンボルマーク制作準備。

以上、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)サラウンド・サウンド専門委員会との連係を密に活動を進めた。

#### (2) 視聴イベントワーキンググループ（17 名）

ワーキンググループ開催経緯（4 回開催）

7 月 6 日、9 月 14 日、10 月 12 日、1 月 25 日

この間、7 月下旬に視聴イベントの方向付けに関しグループメンバーアンケート調査を実施した。

主要活動内容

CD 発売 25 周年記念「音の日」視聴体験キャンペーンの実施要項および広報の策定を行った。

### 2. オーディオ等に関する普及及び啓発（定款第 4 条第 2 号）

#### (1) 「音の日」記念行事（「音の日」実行委員会 森 芳久 委員長 ほか 8 名）

「音の日」実行委員会開催経緯

10 月 9 日、10 月 17 日、11 月 8 日に開催

主要活動内容

第 12 回「音の匠」の選定および顕彰式の企画ならびに「音の日」行事全般の監修を行った。

第 12 回「音の匠」顕彰式

12 月 6 日（木）17：15～17：45（会場）虎ノ門パストラル本館「葵の間」（参加者）80 名

音聴技術を用いて漏水の発見に努め世界でもトップクラスの水資源の有効活用に貢献する、東京都水道局給水部給水課中央支部、東部第一支所、東部第二支所、西部支所、南部第一支所、南部第二支所、北部支所の方々の功績を称え、東京都水道局 東岡創示局長ご臨席のもとで顕彰した。電波新聞社 平山哲雄社長より受賞者に記念品が贈呈された。

「CD25 周年記念シンポジウム」の開催

12 月 6 日（木）13：30～17：00（会場）虎ノ門パストラル本館「葵の間」（参加者）160 名

(社)日本レコード協会、CDs21 ソリューションズとの共催で「CD25 周年記念シンポジウム」を「音の日」の記念行事として開催した。（詳細は 6 . オーディオ等に関する人材育成に記載）

「音の日のつどい」パーティ

12 月 6 日（木）18：00～19：30（会場）虎ノ門パストラル本館「葵の間」（参加者）170 名

音の匠、日本プロ音楽録音賞受賞者ならびにデジタル音楽 25 年を祝して、交流パーティを日本レコード協会・日本音楽スタジオ協会・日本ミキサー協会・演奏家権利処合同機構ミュージックピープルズネスト・CDs21 ソリューションズとの共催で実施した。

#### (2) 視聴体験キャンペーン

視聴イベントワーキンググループの企画にもとづき、12 月 6 日「音の日」を中心にした前後の月間（11

月21日～12月25日)に、15社の協賛を得て各地のショールームや店頭または視聴施設において視聴体験キャンペーン”を実施した。

### (3) 青少年向け普及活動

子供のころから音に親しみオーディオに関心を持ってもらう目的で、主催団体と連携した普及活動を実施した。

#### 「音とスピーカーの実験」

平成19年8月19日(日) 神奈川県立青少年センター 70名参加

主催:(財)日本科学技術振興財団「青少年のための科学の祭典」神奈川大会

協力:パイオニア(株)

#### 「音とスピーカーの実験」

平成19年9月9日(日) 東京学芸大学 小金井キャンパス 90名参加

主催:「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井実行委員会

協力:パイオニア(株)

## 3. オーディオ等に関する基準の作成(定款第4条第3号)

### (1) 新規ソフトの取扱い(ソフト委員会 穴澤 健明 委員長 ほか3名)

オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け、再生音の評価や測定に役立つソフト3タイトルを新規に追加した。

COGQ-28 AUDIO CHECK SACD

AES 001～003 「Surround Sound Reference Disc」(3枚組み)

UNACD-07-01 「原 大力 & His Friends Vol.1」

### (2) ソフトの頒布

オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD-Video、DVD-Audio 等の頒布を行った。

平成19年度頒布枚数計: 496枚

主な内訳

CD-1 Audio Test 252枚・DVD-V1 Audio Check(DVD) 68枚・MLAS-1001～2 9枚・

MLZJ2001～2002 24枚・DAT(2種類) 33巻・COGQ-28 19枚・AES 001～003 89組・

UNACD-07-01 2枚

## 4. オーディオ等に関する情報の収集及び提供(定款第4条第4号)

### (1) 会誌の発行とホームページによる情報提供(編集委員会 藤本 正熙 委員長 ほか9名)

会誌「JAS ジャーナル」を平成19年4月1日、7月1日、10月1日、平成20年1月1日配信の特集号4冊、平成19年6月1日、9月1日、12月1日、平成20年3月1日配信の通常号4冊、合計8冊を刊行した。

編集委員会開催経緯

4月6日、6月15日、9月21日、12月19日、3月6日に開催

JAS ジャーナル特集号のテーマ

平成19年4月号 「最近のスピーカー・システム」 関連記事 7件

平成19年7月号 「音源の高音質化」 関連記事 7件

平成19年10月号 「サラウンド・サウンド普及への取り組み」 関連記事 6件

平成20年1月号 「CD25周年」 関連記事 6件

### (2) 協会ホームページの運用(<http://www.jas-audio.or.jp/>)

JAS ジャーナル8冊の記事(全271頁)と105件のイベント紹介等のトピックスニュースを掲載し、年間約25万ページビューの利用があった。

(3) サラウンドホームページの運用 (<http://www.jas-audio.or.jp/m>)

(社)電子情報技術産業協会(JEITA)サラウンド・サウンド専門委員会と連携して記事内容の活性化に努め、年間約90万ページビュー(前年比135%)の利用があった。

## 5. オーディオ等に関する展示会の開催(定款第4条第5号)

(1) A&V フェスタ 2008 の開催

(A&V フェスタ 2008 実行委員会 西 國晴 委員長 ほか 委員 12 名)

平成20年2月23日~25日にパシフィコ横浜カンファレンスセンターにて展示会「A&V フェスタ 2008」を実施した。今回は展示場と合わせて多くの視聴室を設け、最先端のオーディオ・ビジュアル機器に触れ、視聴いただくことを配慮した会場構成とした。

また、「工作教室」、「自作オーディオ自慢大会」、専門各誌協力によるセミナーと「サラウンド・サウンド」と「デジタル・オーディオ・プレーヤー」のテーマエリアを設け、普及・啓発の充実をはかった。

A&V フェスタ 2006 出展社および来場者

出展社 59社・団体 来場者 33,060名

A&V フェスタ 2008 実行委員会開催経緯

平成18年12月12日	第1回実行委員会	平成18年12月25日	第2回実行委員会
平成19年1月29日	第3回実行委員会	平成19年2月20日	第4回実行委員会
平成19年3月20日	第5回実行委員会	平成19年4月18日	第6回実行委員会
平成19年5月17日	第7回実行委員会	平成19年6月19日	第8回実行委員会
平成19年8月3日	第9回実行委員会	平成19年9月11日	第10回実行委員会
平成19年10月17日	第11回実行委員会	平成19年12月4日	第12回実行委員会
平成20年1月21日	第13回実行委員会	平成20年3月18日	第14回実行委員会
平成20年4月21日	第15回実行委員会		

この他、実行委員会傘下の各委員会が都度開催された。

企画財務委員会 (倉持誠一 委員長 ほか1名) 委員会5回開催

設備委員会 (金澤健夫 委員長 ほか2名) 委員会4回開催

広報委員会 (佐藤晴重 委員長 ほか3名) 委員会8回開催

催事委員会 (馬場哲夫 委員長 ほか2名) 委員会5回開催

「A&V フェスタ 2008」記者発表会

平成19年11月6日 大手町・経団連会館9階「クリスタルルーム」

出席 報道関係者 42名

A&V フェスタ 2008 ホームページ(<http://www.avfesta.com/>)を平成19年11月6日に開設した。

(2) 軽井沢オーディオサロンの開催

「軽井沢八月祭」に協賛し、「極上のリゾート、極上の音。軽井沢オーディオサロン」を8月21~24日に万平ホテル、ザ・ハッピーヴァレイにて、国内外10ブランドとソフト業界講師3名の協力で開催した。

## 6. オーディオ等に関する人材の育成(定款第4条第6号)

(社)日本レコード協会、CDs21 ソリューションズとの共催で、CDによって始まったデジタル音楽25周年を記念した「CD25周年記念シンポジウム」を12月6日「音の日」に開催し、CDの開発・事業展開やデジタルマスタリング進化の歩み等、当事者の貴重な体験を後進に伝え記録に残す催事を行った。

「CD25周年記念シンポジウム」プログラム

記念講演 CD25周年を迎えて 中島 平太郎氏(CDs21ソリューションズ 会長)

パネルディスカッション(第1部)「音づくりの立場から CD25年を語る」

司会:行方 洋一氏(Sound Creator & Sound Supervisor)

パネラー:岡崎 好雄氏(EMI ミュージック・ジャパン・スタジオ)

小鐵 徹氏(ビクタークリエイティブメディア(株)マスタリングセンター)

原田 光晴氏 (ビクタークリエイティブメディア(株)マスタリングセンター)  
保坂 弘幸氏 (H<sup>2</sup> mastering)

パネルディスカッション(第2部)「デジタル音楽25年、そしてこれから」

司会: 麻倉 怜士氏 (デジタルメディア評論家)

パネラー: 穴澤 健明氏 (DRM ソリューションズ)

井橋 孝夫氏 (CDs21 ソリューションズ)

永嶋 孝彦氏 (元 東芝 EMI)

「CD25周年記念シンポジウム」講演録

JAS ジャーナル 2008年1月号特集「CD25周年」に収録(全41頁)

## 7. オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力(定款第4条第7号)

### (1) 日本プロ音楽録音賞の共催

第14回日本プロ音楽録音賞を(社)日本音楽スタジオ協会・(社)日本レコード協会・日本ミキサー協会・演奏家権利処理合同機構ミュージックピープルズネストとの共催で実施した。

63作品の応募があり、審査で選ばれた最優秀5作品と優秀6作品の合計11作品の録音エンジニアとベストパフォーマーを12月6日(木)16:30~17:45 虎ノ門パストラル8階 けやきの間に表彰した。

「第14回日本プロ音楽録音賞」受賞作品一覧

○部門A [CDパッケージメディア]クラシック、ジャズ等 応募総数 11 作品

- 最優秀賞「ファイナル・オーケストラ・スペシャル・ライブ オーボエ協奏曲集」(SICC-10045)より「アルピノーニ:オーボエ協奏曲 変口長調 Op7-3 第1楽章:アレグロ」

宮本 文昭、東京都交響楽団 (Sony Music Japan International Inc.より発売)

メイン・エンジニア:鈴木 浩二 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

マスタリング・エンジニア:鈴木 浩二 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

アシスタント・エンジニア:波多腰 英靖 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

- 優秀賞「EARTHEORY」(VICJ-61444)より「Eartheory」 塩谷 哲トリオ  
(ビクターエンタテインメント(株)より発売)

メイン・エンジニア:松本 靖雄 ZeeQ Co.,LTD.

マスタリング・エンジニア:川崎 洋 FLAIR MASTERING WORKS

- 優秀賞「Just Us」(ENJ-061112)より「No Strings Attached」 E'nJ  
(ATONO RECORD INC.より発売)

メイン・エンジニア:半田 和彦 (株)サウンドインスタジオ・ミキサーズクルー

マスタリング・エンジニア:中里 正男 (株)音響ハウス

レコーディング・エンジニア:Gary Chester フリーランス

○部門B 「ニューパッケージメディア」ポップス、歌謡曲等 応募総数 18 作品

- 最優秀賞「風の詩を聴かせて」(VICL-36800)より「風の詩を聴かせて」 桑田 佳祐  
(ビクターエンタテインメント(株)より発売)

メイン・エンジニア:中山 佳敬 ビクターエンタテインメント(株)

マスタリング・エンジニア:小島 康太郎 FLAIR MASTERING WORKS

アシスタント・エンジニア:高須 寛光 ビクターエンタテインメント(株)

- 優秀賞「Milestone」(TOCT-26138)より「20才のころ」 今井 美樹  
(株)EMIミュージック・ジャパン より発売)

メイン・エンジニア:三浦 瑞生 (株)ミキサーズラボ

マスタリング・エンジニア:宮本 茂男 form THE MASTER

- 優秀賞「Sad Songs」(MUCD-1150)より「The Water Is Wide」 川江 美奈子  
(株)ドリーミュージック・より発売)

メイン・エンジニア:加納 洋一郎 (株)ミキサーズラボ

マスタリング・エンジニア:竹中 昭彦 (株)ユーズミュージック・ハートビート  
レコーディングスタジオ

- 部門C「ニューパッケージメディア」DVD-Audio,DVD-Video,SACD(2ch ステレオ) 応募総数 4 作品
- 最優秀賞 SACD 2ch ステレオ「Sara Smile」(PCCY-60003)より「Fragile」 市原 ひかり  
(株)ポニーキャニオンより発売)  
メイン・エンジニア:川崎 義博 (株)ポニーキャニオン  
マスタリング・エンジニア:川崎 義博 (株)ポニーキャニオン
- 部門D「ニューパッケージメディア」DVD-Audio,DVD-Video,SACD(サラウンド)応募総数 7 作品
- 最優秀賞 DVD-Video マルチ ch サラウンド「Rock Opera 2」(TOBF-5527・28)  
より「Lookin'Back」 矢沢 永吉  
(株)EMIミュージック・ジャパンより発売)  
メイン・エンジニア:篠筈 孝 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ  
マスタリング・エンジニア:篠筈 孝 (株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ  
アシスタント・エンジニア:宇納 真也 (株)音
- 部門E「放送メディア」放送作品部門 応募総数 23 作品
- 最優秀賞「富田 勲 仏法僧に捧げるシンフォニー～鳳来寺山 63 年目の再訪～」  
富田 勲 (NHK 衛星ハイビジョン BS-hi5.1ch 2006 年 11 月 22 日放送)  
メイン・エンジニア:深田 晃 NHK放送技術局コンテンツ技術センター 番組技術開発  
セカンド・エンジニア:西村 大介 NHK放送技術局報道技術センター 中継  
セカンド・エンジニア:小野 良太 NHK放送技術局コンテンツ技術センター 番組技術開発  
セカンド・エンジニア:吉田 英人 NHK放送技術局報道技術センター 中継
  - 優秀賞「題名のない音楽会 21」より「団塊の世代が選ぶ映画音楽(2)/シェルブールの雨傘」  
羽田 健太郎、ミシェル・ルグラン、神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
(テレビ朝日 HDTV 2007 年 3 月 18 日放送 5.1ch)  
メイン・エンジニア:酒井 秀一 (株)テレビ朝日  
セカンド・エンジニア:早川 憲一 (株)テレビ朝日  
フロア・チーフ・アシスタント:須崎 泰道 (株)日放  
フロア・アシスタント:町田 なおみ (株)日放
  - 優秀賞「2006 サイトウ・キネン・フェスティバル松本」より  
「シヨスタコーヴィッチ 交響曲第 5 番」指揮:小澤 征爾、サイトウ・キネン・オーケストラ  
(長野朝日放送 HDTV 2006 年 12 月 24 日放送 5.1ch)  
メイン・エンジニア:岩井 和久 長野朝日放送(株)  
セカンド・エンジニア:井上 哲 テレビ朝日映像(株)
- ベストパフォーマー賞
- 「幻世～まぼろよ～」(WHSP-1025)より「うららか」綺羅(木戸 やすひろ、広谷 順子)  
(株)PCカンパニーWhisper Notes Music より発売)

## (2) プロフェッショナルオーディオ協議会への参加

プロフェッショナルオーディオ協議会(PAS)に参加し、6月5～7日に科学技術館で開催された(社)日本映画テレビ技術協会主催の「映画テレビ技術2007」の開催に協力した。

## (3) 後援・協賛名義の使用承認

- ・第13回真空管オーディオフェア
- ・第25回オーディオフェスタ・イン・ナゴヤ
- ・CEATEC JAPAN 2007
- ・モバイル・エレクトロニクス・ショー2007
- ・JPCA show 2008/2008 マイクロエレクトロニクスショー

## 8. 総務事項

### (1) 通常総会

日時:平成19年6月7日(木) 11:00～12:00  
場所:千代田区永田町 トスラブ赤坂

- 出席者数：正会員 318名（委任状出席者を含む）  
議事：第1号議案 平成18年度事業報告の承認を求める件  
第2号議案 平成18年度収支決算報告並びに監査報告の承認を求める件  
第3号議案 平成19年度事業計画の承認を求める件  
第4号議案 平成19年度収支予算の承認を求める件  
第5号議案 役員交代の承認を求める件

## （2）理事会

- ・日時：平成19年5月23日（水） 15:00-16:30  
場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室  
出席者数：28名（委任状および代理人出席を含む）
- ・日時：平成19年6月7日（木）12:00-12:15  
場所：千代田区永田町 トスラブ赤坂  
出席者数：25名（委任状および代理人出席を含む）
- ・日時：平成19年9月5日（水）15:00-15:15  
場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室  
出席者数：26名（委任状および代理人出席を含む）
- ・日時：平成20年2月6日（水）15:00-15:15  
場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室  
出席者数：25名（委任状および代理人出席を含む）
- ・日時：平成20年3月26日（水）15:00-16:30  
場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室  
出席者数：26名（委任状および代理人出席を含む）

## （3）運営会議

- 第70回 日時：平成19年5月23日（水）16:30～17:00  
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：28名
- 第71回 日時：平成19年9月5日（水）15:15～17:00  
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：25名
- 臨時 日時：平成19年11月1日（木）14:30～17:30  
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：24名
- 第72回 日時：平成20年2月6日（水）15:15～16:30  
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：25名
- 第73回 日時：平成20年3月26日（水）16:30～17:00  
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：26名

## （4）特設委員会（法人制度改革と協会ミッションの検討）

平成19年12月7日（金）平成19年12月13日（木）に開催

## （5）監事監査

日時：平成19年5月16日（水）11:00～14:00  
場所：日本オーディオ協会会議室

## （6）登記事項

平成19年6月7日 役員登記

## （7）平成19年度の会員数（平成20年3月31日現在）

正会員 法人会員 26社（うち団体6団体）・個人会員 404名

賛助会員 法人会員 30社・ 個人会員 898名

(8) 平成19年度の役員数(平成20年3月31日現在)

理事 30名(うち会長1名、副会長4名、専務理事1名)・ 監事 2名

(9) 平成19年度の職員数(平成20年3月31日現在)

5名(うち業務委託1名)

(10) 表彰等

1. 日本オーディオ協会賞

協会創立55周年の記念行事として1月16日に第5回「日本オーディオ協会賞」をコートヤード・マリオット 銀座東武ホテルにて4名・1社の方々に贈呈した。

第5回「日本オーディオ協会賞」受賞者

大賀 典雄 氏(ソニー株式会社 相談役)

永年にわたる音楽・オーディオ分野への貢献とCDの開発・実用化によりデジタル音楽文化を先導した功績

阿部 美春 氏(元 ティアック株式会社)

永年にわたる磁気録音技術の開発・標準化と、業務用パーソナルレコーディング機器開発と商品化におけるオーディオ分野への貢献

守谷 健弘 氏(NTTコミュニケーション科学基礎研究所 守谷特別研究室長)

オーディオ・ビジュアル分野で広く応用される各種の音声符号化の開発と標準化における貢献

浦野 丈治 氏(日本テレビ放送網(株) 技術統括局 技術開発部 調査企画担当副部長)

放送品質を考慮した日本のデジタル放送の音声方式規格化と実用化における貢献

フォスター電機株式会社

永年にわたり音響機器を開発・商品化した功績と近年の国内外におけるデジタル音楽プレーヤー分野の発展と普及への貢献

2. 音の匠

東京都水道局 7部署代表者を「音の匠」として顕彰

3. 日本プロ音楽録音賞

最優秀5作品と優秀6作品の合計11作品の録音エンジニアとベストパフォーマーを表彰

(11) 音の日のつどい

(社)日本レコード協会・(社)日本音楽スタジオ協会・日本ミキサー協会・演奏家権利処合同機構ミュージックピープルズネスト、CDs21 ソリューションズとの共催で実施した。

日時:平成19年12月6日 場所:虎ノ門パストラル「葵の間」 参加者:178名

(12) 新春の集い

日時:平成20年1月16日(水) 18:30~20:00

場所:銀座 東武ホテル 龍田の間 参加者:143名

以上